

附属機関等会議録

令和4年9月27日

会議の名称	令和4年度 第1回島田市中小企業・小規模企業 振興推進会議
開催日時	令和4年8月25日 15時30分から 17時00分まで
開催場所	島田市役所 第2委員会室
会議の議題	1 開会 2 説明及び意見交換 ・島田市中小企業・小規模企業振興基本条例の確認 ・本年度の施策とこれまでの取組について ・令和4年度のテーマについて 3 閉会
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	
公開の場合の傍聴人の数	8人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	<p>今回の会議は、令和4年度に取り組むテーマの方向性を位置付けることを目的とした。まず、本会議の設置条例に基づき、各々の役割を再確認した。</p> <p>次に、これまでの実施施策及び本年度実施施策、そして現在中小企業・小規模企業を取り巻く環境を共有した上で、今、何が必要なのかを議論した。</p> <p>本年度の施策とこれまでの取組について、委員から挙げた意見や質問（●）と事務局の回答（→）は以下のとおり。</p> <p>● 本年度実施するデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）に係るセミナーの進捗はどうか。</p> <p>→ 現在、具体的な実施内容を練っている段階であ</p>

り、10月頃から実施したいと考えている。

- LINEクーポン事業の評価は高い。条件の縛りはあるが、商店街としては助かっているという声がある。今後の予定はいかがか。

→ 次回のLINEクーポン事業は10月以降に実施を予定している。現在、条件面を精査している。

- サテライトオフィス等進出事業費補助金についての進捗はいかがか。

→ 令和3年度の実績は、シェアオフィス開設が1件、本社移転1件であった。首都圏からの移転はなかった。令和4年度は、現在、シェアオフィス開設1件の申請を受けている。

- 今年度から事業継続力強化計画を実施しているが、申請状況はいかがか。事業継続力強化計画の策定を条件とする中で、事業者の防災意識を高める点から良い補助金であると思う。

→ 予算500万円のところ、現在の申請は1件20万円に留まる。問い合わせはかなりいただいている。有事に備えて検討される様子が見える。

～以下、本年度テーマ設定にあたって委員から挙げられた意見～

- ・喫緊の課題である原材料の高騰については、策をうつ必要がある。
- ・販路開拓やマッチングの機会を求める事業者の声がある。コロナ禍ではあるものの、出店募集やバイヤーとの相談機会が増えている。販路開拓に係る補助金を仕掛けてはどうかと思う。
- ・原材料高騰の点で仕事量は増えても売り上げ、利益に繋がらないのは課題である。
- ・物価・燃料高騰対策は、会議で解決できるレベルのものではない。島田市でできること、できないことがある。カンフル剤を打つのか、ウィズコロナの施策を展開していくかの2点ではないか。
- ・島田市の産業支援センターは充実し、支援体制も整っているなど、他市には真似できないものだと

思っている。センターでの個別相談で対応可能なことが多いことから、全体的に取り組めるものとしてDX推進が良いのではないかと思う。

- ・行政が絡めば良いと思うのは、SDG'sや脱炭素、DXであり、いずれも事業者が取り掛かりにくい分野である。これらの取組に関し、リクルートの際に若い人から社の状況を聞かれて焦り、やらなくてはと思うようだ。教育機関と連携して地域を盛り上げていくことで自治体に関わるのは良いことではないか。販路拡大、人材確保といった点も若い人からの意見を入れて進めていき、学校と企業との連携の中にSDG's、DXを絡めていくのが面白いのではないか。
- ・喫緊の課題として、人材確保が挙げられる。活動がなかなか結果に結びつかない状況。人材確保とセットで働き方改革（働きやすい環境の提供）が大切ではないか。
- ・社会的に兼業、副業が広まってきている。事業者の課題を解決できるような副業人材とのマッチングができれば良いのではないか。
- ・小学校の教科書でSDG'sや環境教育に触れており、子どもたちはそれを学んでいる。企業としてSDG'sなどを意識していくことは必要である。
- ・コロナ前から人材不足が叫ばれており、少子高齢社会でそれはより顕著になる。
- ・教育、大企業とのマッチングは必要だと思う。これからの若い人たちの意見や考え方を聞くことで中小・小規模企業は勉強していき、できないことを大企業にお願いして教えてもらう。中小・小規模企業、大企業、教育現場で全体的に地域を盛り上げる施策があればよいと思う。
- ・中小企業の課題についてコンサルタントに聞いたところ、自社の強みを説明できる経営者が少ないとのこと。強みをこれから先の社会に生かせるのか考える必要がある。自社の強みを言えるようにすることが、事業を様々な方向に広げていく。SWOT分析をはじめ、前向きに進めていく取組をすべきではないか。

これらの意見を参考に、令和4年度会議の具体的

	テーマを設定していくこととする。なお、限られた時間では意見の集約等が難しいことから、各委員に対して、後日書面にて取り組むべきテーマの提出を依頼して閉会した。
提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部 商工課
その他必要な事項	